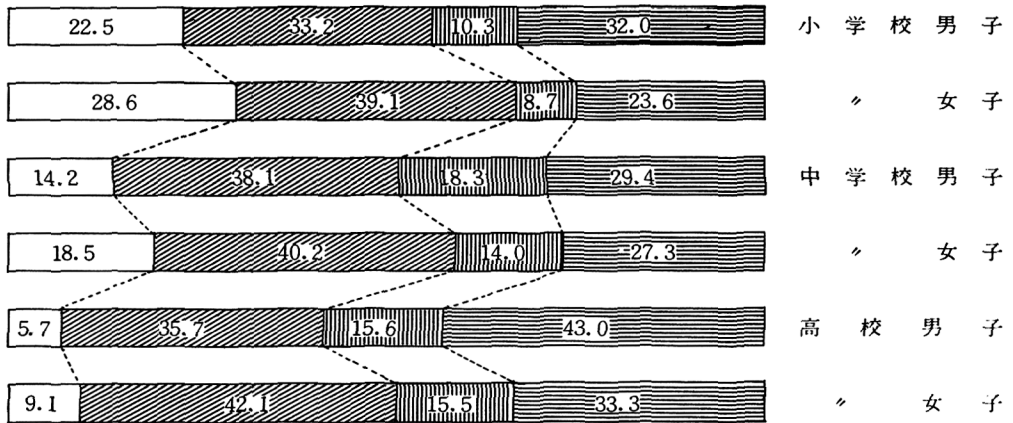


— 毎日の生活のようす —

たいへん楽しい □、少し楽しい ▨、つらいことが多い ▩、なんとも感じない ■



毎日の生活のようすでつらいことが多い子が、小学校10%前後、中学校14~18%、高校が15%いるようで高校へいくにつれてやや多くなる。なんとも感じない者が、小学校より高校へいくと増加していく傾向がみられる。

こんな子どもの状態であったが、個々につらいことがどんなことかは、今後の面接項目にまつとしよう。上学年にいくとなんとも感じないという者が多いのは、生活の中で自主性を形成していく過程にあるのかとも考えられる。

はじめ、低学年のときは、男女いっしょに体重測定をしていたのに、乳房が大きくなり、メンスがあったりすると自分の発達を意識するようになって、男女いっしょに測定することをきらいになる。

男子では、声がわりや体毛の発生に気づき「女の子がくるとはずかしい」という現象を呈するようである。

それで「いつからメンスになったか」「いつから声がわりしたか」という個人の変化をみることで、心の発達と大きな関係をもつであろうと考えられるので、変声と初潮の時期がいつか調べてみた。

○生理発達と性意識

すでに6年生となるとからだについて意識し

— 変声と初潮の時期 —

年齢	小学校		中学校				高校					
	男子		女子		男子		女子		男子		女子	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
9	1	1.8										
10	12	21.4	7	16.7			2	11.5	2	0.8		
11	13	34.0	29	69.1	11	5.1	27	41.3	9	4.0	13	5.0
12	21	37.5	5	11.9	60	28.0	97	41.3	46	20.2	98	37.8
13	2	3.5	1	2.3	118	55.2	97	5.1	83	36.4	104	40.2
14					25	11.7	12	0.8	62	27.2	37	14.3
15	1	1.8							12	5.3	6	2.3
16									14	6.1	1	0.4
計	56		42		214		235		228		259	